概要

Honda の事業領域

主要事業

二輪事業

Honda は、多くの地域でモータリゼーショ ンの先駆けとなり世界の人々から愛される 「コミューターモデル」から、操る喜びをダ イナミックに味わえる「スポーツモデル」ま で幅広いラインナップを揃えています。

「スーパーカブ」はコミューターモデルの 代名詞として60年に迫る超ロングセラーを 続けています。2016年12月時点でのグロー バル生産台数は累計9千7百万台を突破し、 世界中の多くのユーザーに日々のモビリティ を提供しています。

2016 年は「CBR1000RR」を刷新し、これ からのスーパースポーツモデルのあり方を提 示しました。また、アドベンチャーモデルの 力強さと、コミューターモデルの利便性を高 次元で融合させ、新しいジャンルをめざした 「X-ADV」を 2017 年 4 月に発売しました。

Honda は二輪車のトップメーカーとして、 業界をリードし続けています。



CBR1000RR SP



Wave110

四輪事業

Honda は、北米の専用工場で新型「NSX」 の生産を始めました。熟練した従業員だけ で組み立てる高性能・高品質のクルマです。 34年にわたる北米生産の歴史が、これを 可能にしました。Honda は、「クルマを操る 楽しさ」をいまの時代だからこそ伝えたい と、最新の技術を投入して NSX をつくりま した。この精神はすべての車種から感じら れる Honda の特徴の一つになっています。

日本で展開している軽自動車の「N-BOX」か ら、グローバルモデルでベストセラーの「シビッ ク」や「HR-V/ ヴェゼル」、そして北米のピック アップトラック「リッジライン」まで、Honda は四輪車のフルラインナップを有しています。

また、米国と中国を中心に Honda のラグ ジュアリーブランドとして「Acura」を展開し ています。「プレシジョン・クラフテッド・パ フォーマンス」をブランドスローガンとして 30 年間突き詰めてきた Acura には、前述 の NSX をはじめ、そのスローガンにふさわ しい機種を揃えています。



シビック セダン



ヴェゼル

パワープロダクツ事業

Honda は、汎用エンジンをはじめそれら を搭載した耕うん機、発電機、除雪機、芝 刈機、ポンプや船外機など多彩な商品を延 べ 150 以上の国や地域のお客様に年間 600 万台提供しています。また、暮らしのさまざ まな場面で役立つ電動化製品の開発・商品 化も進め、ロボット芝刈機「ミーモ(Miimo)」、 ハンディタイプ蓄電機「リベイド(LiB-AID) E5001 などの新しい価値も提案し続けてい ます。

また、Honda のロボティクス技術で培った 歩行理論をもとに開発された歩行訓練機器 「Honda 歩行アシスト」の法人向けリース販 売を行っています。

これからも、身近で役に立つ製品を世界 中の方々にお届けするとともに、エンジン 技術や電動化技術の可能性を最大限に活か し、追求することで、「役立つ喜び」を広げ ていきます。



ロボット芝刈機ミーモ (Miimo) Honda 歩行アシスト

事業創造

航空機および航空機エンジン

Honda はパーソナルな移動の新たな提案 として 2015 年末、「HondaJet」を世に送り 出しました。HondaJet は、主翼上面のエ ンジン配置などの Honda 独自技術により、 上質な空の移動体験を提供しております。 HondaJet は北米、中南米、欧州で販売し 好評を得ています。また、2017年5月より 東南アジアでも受注を開始しました。

一方 Honda は、航空業界第1位の General Electric (GE) と共同で航空機ターボファン エンジン「HF120」を開発しました。HF120 は、Honda Aero Inc. にて生産され、GEと 50:50 の合弁で設立した GE Honda Aero Engines を通じて販売が進められています。 軽量・コンパクト・高効率・高推力なこのジェッ トエンジンは、その性能優位性を訴求して、 Honda Jet を皮切りにほかの航空機メーカー へ販売を広げていきます。





ターボファンエンジンHF120

概要

Honda の価値創造の歴史

2012

Scope3 (製品使用時のグローバルでの CO2排出量)を業界初開示

2014

CDP2014開示スコア 満点を獲得



2015

「HondaJet」販売開始



2016

四輪車世界生産 累計1億台達成



2030

四輪車販売数の 2/3を電動車に

2010年代~未来へ

2012

汎用製品の 累計生産台数 1億台達成

2014

岩谷産業株式会社と共同で、 世界初パッケージ型 「スマート水素ステーション」設立



2015

歩行訓練機器 「Honda歩行アシスト」を発表



2016

「Hondaコーポレート ガバナンス基本方針」 改定

2050 CO2総排出量を 2000年比で 半減

2002 燃料電池



1997

ベルギー、浜松製作所、 栃木製作所で IS014001認証 取得

1993

汎用エンジンが 世界初米国の 排ガス規制適合の 認可を受ける



1987

日本初の エアバッグ 搭載四輪車 発売



1981

両上肢障がい者用運転 補助装置付き 国産1号車(「シビック」)完成



2006

ブラジル向け、 エタノール燃料車 「フレキシブル・フューエル ビークル(FFV)」を開発



1999

米国初 ハイブリッドカー 「インサイト」発売



1996

世界初、人間型 自律2足歩行ロボットを 発表



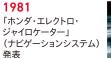
1980~2000年代

1990

フレックスタイム/ 育児休職制度導入

1986

米国CSI調査で No.1を獲得





1947

自転車用 補助エンジン「A型」 生産開始

1948

「3つの喜び」制定

1949

初の二輪車 「ドリームD型」 生産開始



1953

汎用製品事業を開始 (2ストローク汎用製品 エンジン「H型」発売)



1960

資格制度導入

1963 四輪車生産開始

(軽トラック「T360」)



1940~1970年代

1946

株式会社本田技術 研究所開設

1948

本田技研工業 株式会社設立 1953

「120%の良品」 方針発信

1958

「スーパーカブ」 発表



1960

技術研究所が 分離独立 (本田技術研究所設立)

1970

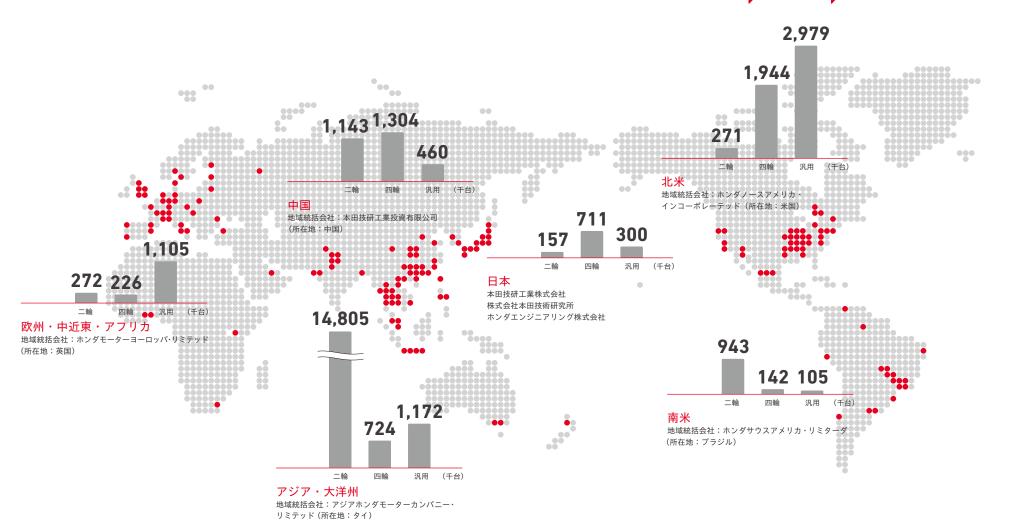
安全運転 普及本部発足

1971 低公害エンジン・ CVCCエンジン発表



販売台数と主な拠点

国境を超え28,000,000人の喜びへ



社名 本田技研工業株式会社 設立 1948年(昭和23年)9月 代表者 代表取締役社長 社長執行役員 八郷 隆弘 資本金 86,067 百万円(2017年 3月末現在)

※グラフは6極地域における二輪車、四輪車、汎用製品の販売台数(千台)(小売り) (2016年4月~2017年3月)

●は Honda グループのロケーションイメージ



目次

1 編集方針

2 Honda フィロソフィー 3 概要

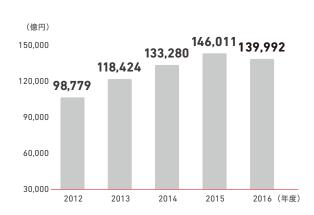
4 トップ メッセーシ サステナビリティ マネジメント パフォーマンス ■環境 ■安全 ■品質 ■人材 報告 ■社会活動 ■サプライチェーン 7 GRI ガイドライン 対照表

8 第三者保証

概要

財務関連データ

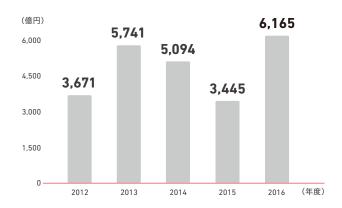




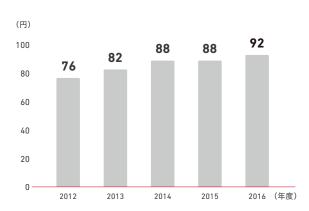
営業利益/売上高営業利益率



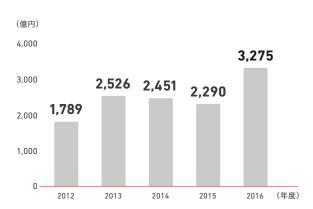
親会社の所有者に帰属する当期利益



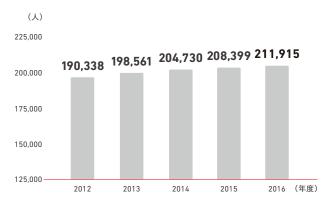
1株当たり配当額



法人所得税費用



従業員数



※2013年度までは米国会計基準(USGAAP)で、2014年度からは国際会計基準(IFRS)で集計。